

E-5

来て！見て！触って！

のじりこはくつはくぶつかん

2009年野尻湖発掘博物館

○ 野尻湖とは？

野尻湖とは、長野県北部の信濃町にある湖です。ここから、ナウマンゾウやオオツノジカなどの、もう絶滅してしまった動物の化石がたくさん発見されています。

このことから、野尻湖では3～5万年前、これらの動物が生息していたと考えられています。

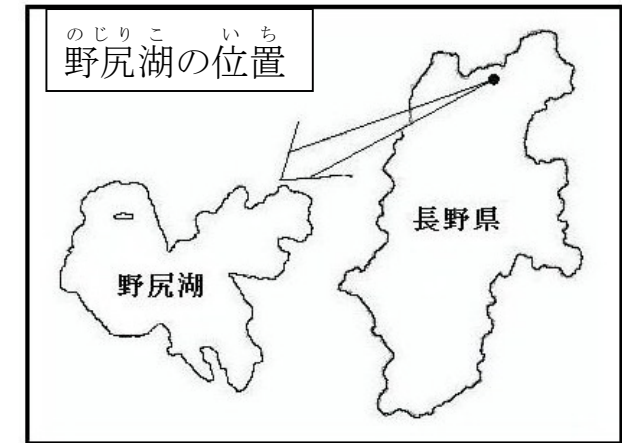
また、これらの化石と一緒に、石器や骨器といった昔の人が使っていた道具も見つかり、野尻湖には、ナウマンゾウなどの動物を狩りながら暮らした「野尻湖人」がいたのではないかと考えられています。

○ 野尻湖発掘調査団とは？

野尻湖発掘調査団とは、ナウマンゾウや「野尻湖人」がいた時代のようすを明らかにするために、野尻湖やその周辺を調査している団体のことです。調査団では、生物や地質の専門家だけでなく、子供からお年寄りまで、たくさんの方が発掘に参加し、一緒に学んでいます。

野尻湖発掘は、このような形で45年以上おこなわれており、2010年の3月には、18回目の湖底発掘が予定されています。

今回は、発掘の様子を立体模型にしたものを展示しています。発掘がどのようにしておこなわれているのか、発掘には何が必要なのかなどを紹介しています。発掘の様子がよく分かる楽しいものとなっています。興味のある方は、ぜひお立ち寄りください。



参考資料：野尻湖発掘調査団ガイドブック

まがたま 勾玉を作ってみよう



かつせき 〈滑石について〉

滑石は、水酸化カルシウムとケイ酸塩からなる粘土鉱物です。爪よりも軟らかく、主に白～淡緑色で、光沢は真珠に似ています。

〈作り方〉

1. まず、石に切り出したい形を描き、不要な部分をだまかにカッターで削ります。
2. 石にキリでヒモを通す穴を開けます。
3. 粗めのサンドペーパーで形を整え、細かいサンドペーパーで表面を整えます。
4. 耐水ペーパーに水をつけながら、表面の傷がなくなり、光沢が出るまで磨きます。
仕上げに布・新聞紙で磨きヒモを通すと完成です。

参考サイト： 勾玉の作り方

http://www12.wind.ne.jp/motoi/yakoji_home/report/2002/magatama/mk_magatama.html

野尻湖発掘調査団 中南信野尻湖友の会事務局